

環境報告書

2026



環境方針

●基本理念

当社は、経営理念「エレクトロニクス技術をもって、人類の健康と安全に寄与し、情報通信分野に貢献する」に基づき、地球環境の保全が重要課題の一つであることを認識し、事業活動のあらゆる段階で、環境の保全に配慮して行動する。

●基本方針

- (1) 事業活動、製品及びサービスにおいて、ライフサイクル全体の環境負荷低減に対応する環境マネジメントシステムを構築し、社会的要求に応える。
- (2) 技術的、経済的に可能な範囲で、省エネルギー・省資源・廃棄物削減・有害化学物質削減、継続的改善に取り組み、汚染の予防に努める。また、生物多様性の保全に配慮する。
- (3) 環境関連法規及び会社が同意するその他の要求事項を順守し環境の保全と向上に努める。
- (4) 環境改善活動を実践するための環境目標を定め、その達成のため最善の努力をする。また継続的改善を図るため、環境目標は、定期的な見直しをする。
- (5) 環境方針を文書化し実行し維持する。全ての作業員に周知徹底するため、環境方針及び環境目標を記載した環境方針カードを作成し配布する。
- (6) 環境方針は、ホームページ等を通じ社外へ公表する。

上田日本無線株式会社 代表取締役社長 市川 政宏

環境経営

●ISO14001

国際規格である環境マネジメントシステムの「ISO 14001」の認証を取得し、環境活動に取り組んでいます。（登録証番号：JQA-EM0531）

●当社の環境活動の歩み

当社は1999年に（財）日本品質保証機構の審査を受けて認証を取得しました。

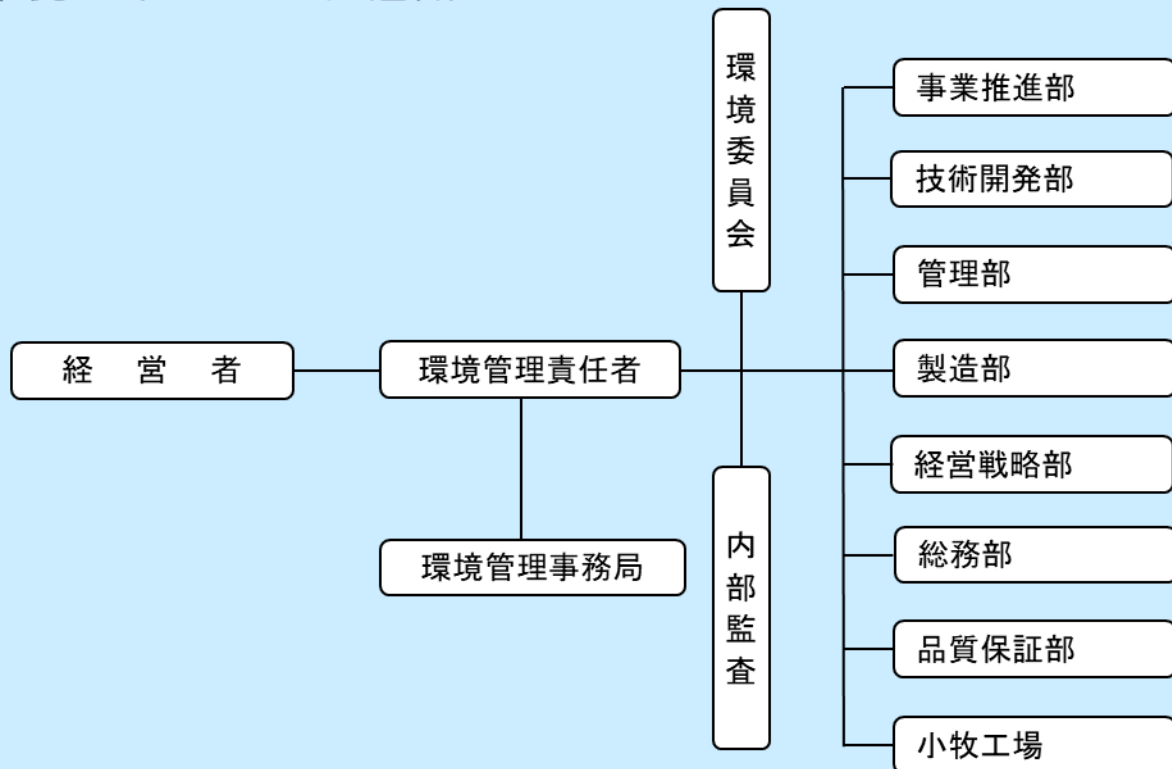
当初は本社工場と小牧工場及び旧日無工業(株)でスタートし、2003年に旧浅科ニチム(株)を対象事業所として追加登録しました。

2017年の更新審査にて「ISO14001:2015」に移行しました。

2026年1月よりグループの事業構造改革に伴い活動拠点を本社工場及び小牧工場としました。



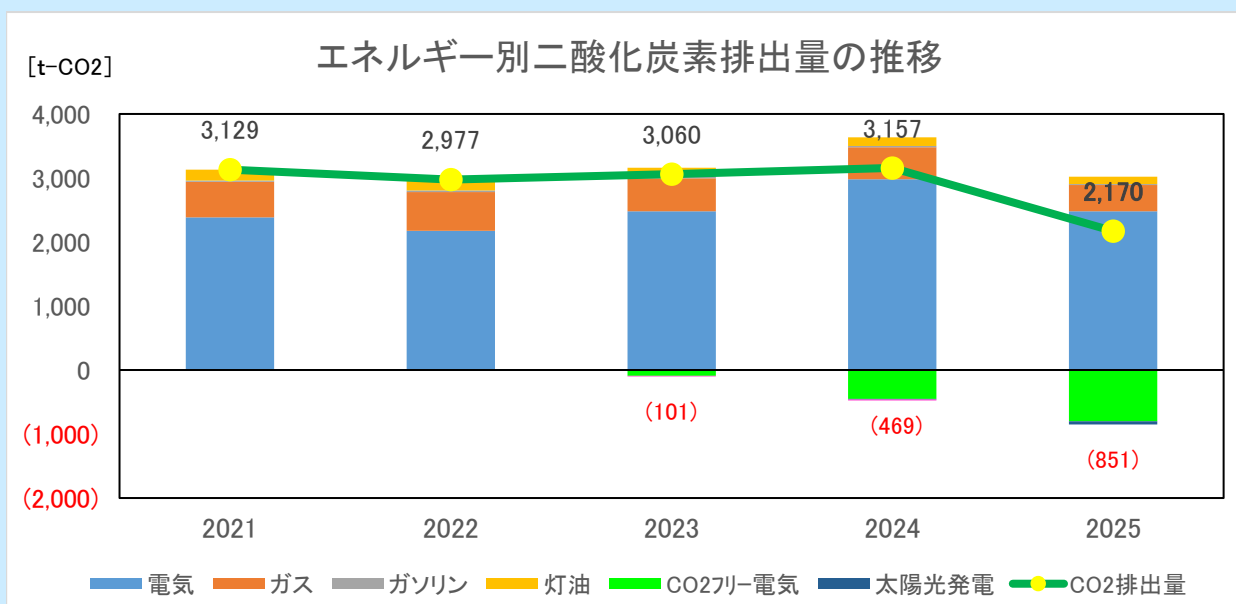
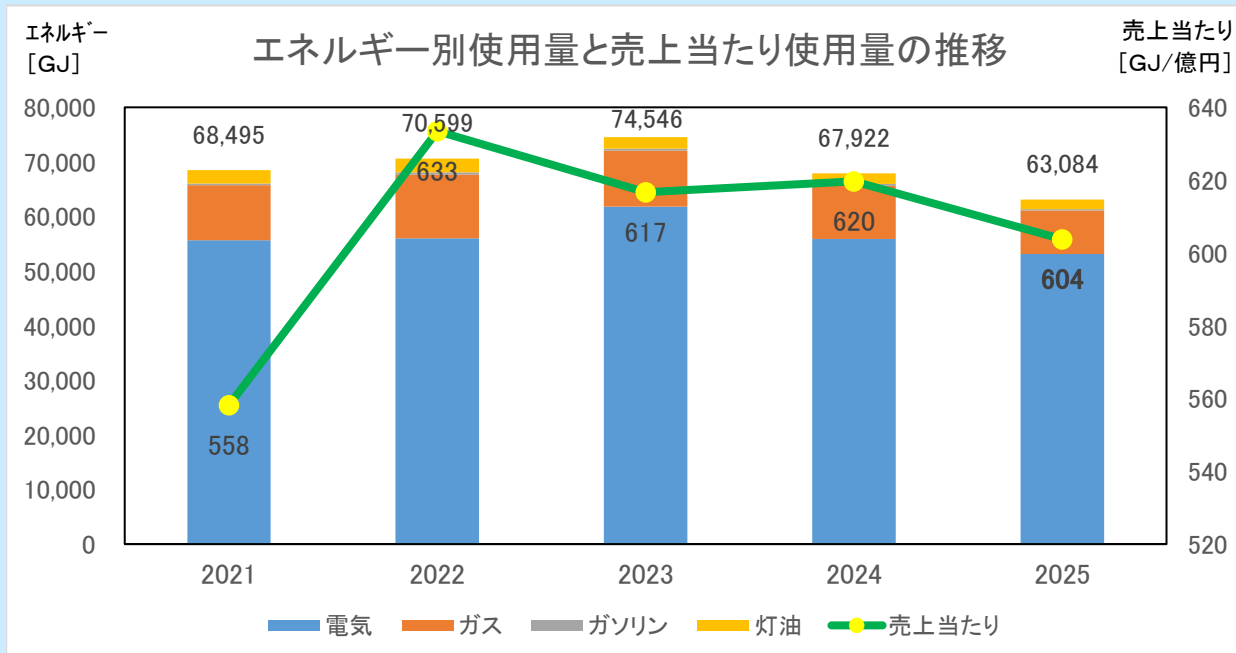
環境マネジメント組織



環境活動報告

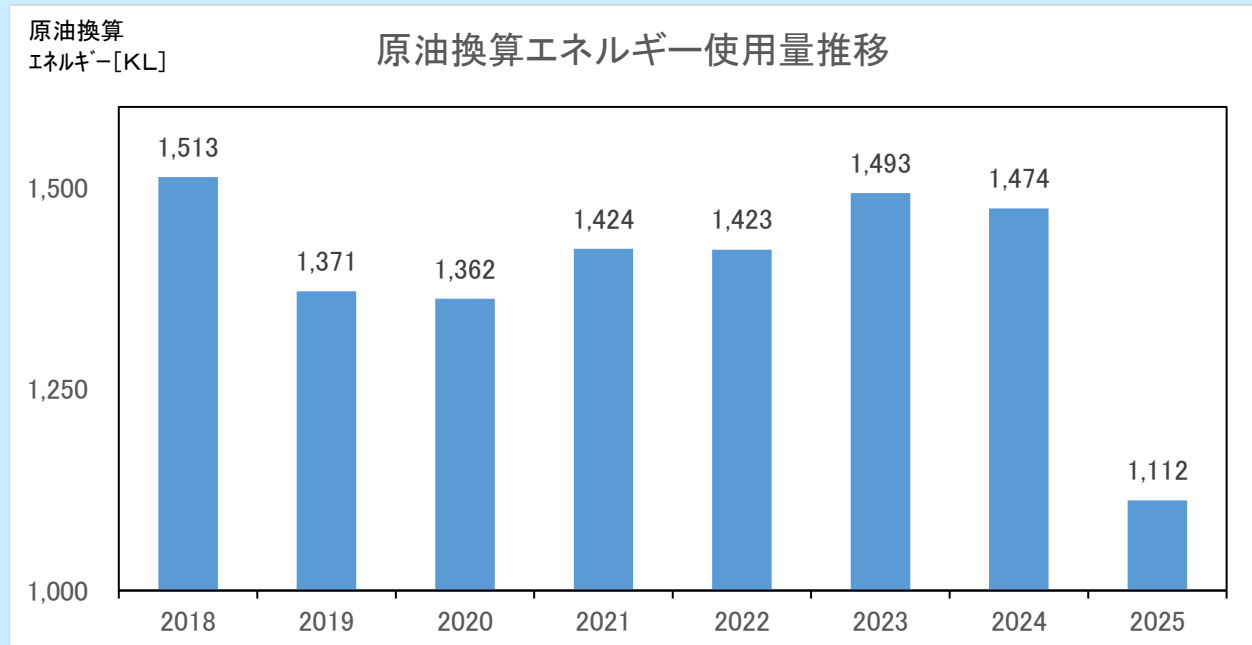
●省エネ・地球温暖化

エネルギー使用量は、63,084GJ（前年度 67,922GJ）対前年比で4,838GJ 7%減少しました。温室効果ガス排出量は、2,170t-CO₂（前年度 3,157t-CO₂）対前年比で987t-CO₂ 31%削減となりました。



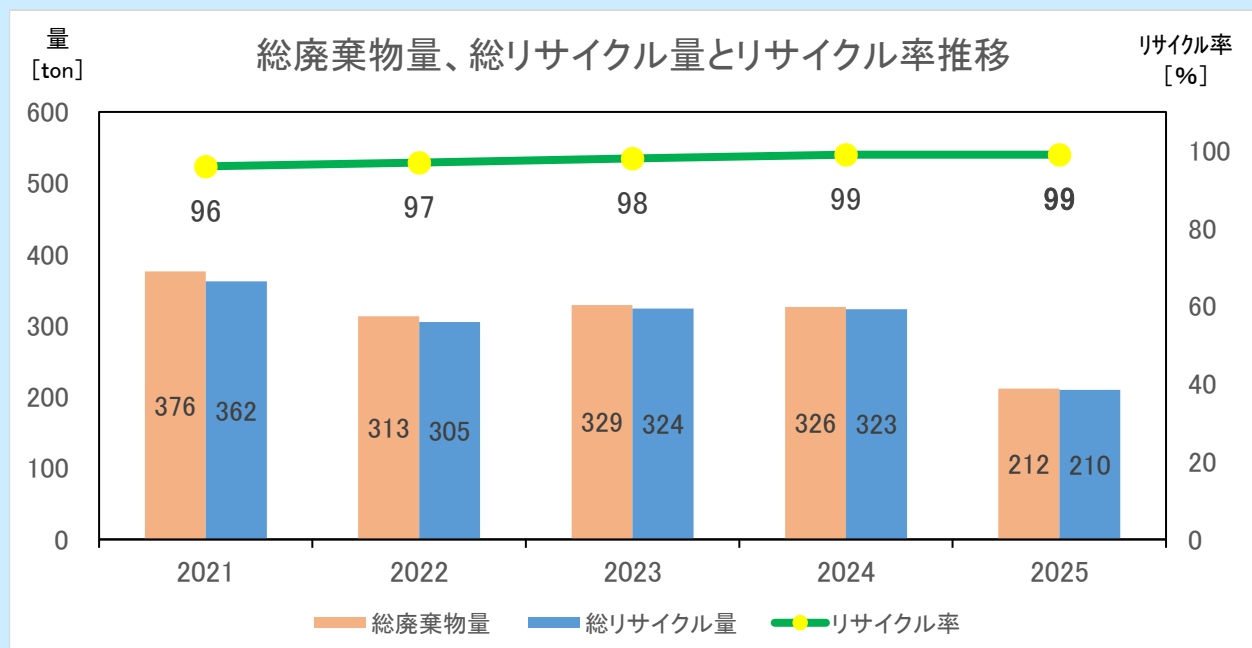
●省エネ・地球温暖化

原油換算エネルギー使用量は、2018年度 1,500KL を超過しましたが、2019年度以降は 1,500KL を下回る状況で推移しております。



●リサイクル

リサイクル率は、プラスチック類の3R推進継続により2021年以降、毎年1Pアップで推移し、前年同様99%となりました。



製品・調達の取組み

●グリーン調達ガイドライン

事業活動において気候変動対策及び循環型社会、自然共生社会の実現を目指す中で、弊社が提供する製品が「自然環境の保護」及び「生態系の保全」並びに「人への健康被害防止」に十分配慮したものであるために、環境負荷の少ない製品・部品の調達(グリーン調達)の推進を図るべくグリーン調達ガイドラインを発行しております。

最新は2026年4月発行の第7.1版となります。

取組み事例

●「UE 森 2025 上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い」に参加

当社は、環境保全活動として、2023年より上小森林認証協議会及び長野県と協定を締結し、「にぎやかな森プロジェクト」に参画しています。行政や企業が一緒になり、「いきものや人でにぎわう 地球にイイ森」づくりを目指して活動を行っています。



2025年5月10日に上田市菅平高原の上田市東御市真田共有財産組合林(SGEC認証林※)において植樹の集いが行われ、当社は今年で3回目の参加となります。

家族を含めて20名が参加し、総勢195名にて0.64ヘクタールに約2,000本のカラマツの苗木を植えました。

植樹活動への参加を通じて、自然の恵みやありがたさを改めて実感することができ、生物多様性の保全や気候変動への対応といった環境保全につながる、大変有意義な体験となりました。引き続き豊かな森林づくりを支援し、生物多様性の保全に貢献していきます。

※一般社団法人緑の循環認証会議(SGEC)により持続可能な森林経営を実現するため、国際的な基準に基づいて森林の管理方法を審査、認証された森林

